

2025 年度（令和 7 年度）

決 算 報 告

自 2025 年 4 月 1 日

至 2026 年 3 月 31 日



公益財団法人 日本交通公社

目 次

1. 貸借対照表	1
2. 貸借対照表内訳表	2
3. 正味財産増減計算書	3
4. 正味財産増減計算書内訳表	4
5. キャッシュ・フロー計算書	5
6. 財務諸表に対する注記	6-10
7. 附属明細書	11
8. 財産目録	12-13

監査報告書

1. 独立監査人の監査報告書	14-16
----------------------	-------

貸借対照表

(2026年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	74,217,553	179,871,380	▲105,653,827
未収金	156,508,419	120,510,061	35,998,358
未収利息	18,014,601	19,071,356	▲1,056,755
貯蔵品	352,090	357,320	▲5,230
前渡金	11,299,860	7,149,041	4,150,819
前払費用	6,422,514	3,838,700	2,583,814
立替金	206,956	3,852	203,104
流動資産合計	267,021,993	330,801,710	▲63,779,717
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	1,531,552,889	1,531,552,889	-
普通預金	447,111	447,111	-
基本財産合計	1,532,000,000	1,532,000,000	-
(2) 特定資産			
建物	392,087,019	401,808,182	▲9,721,163
構築物	18,024,389	19,768,680	▲1,744,291
建物附属設備	31,647,958	37,845,429	▲6,197,471
什器備品	11,114,611	8,453,018	2,661,593
投資有価証券	4,902,577,935	5,503,025,668	▲600,447,733
関連会社株式	682,250,000	682,250,000	-
出資金	1,384,139,210	1,255,846,020	128,293,190
普通預金	471,707,432	50,642,775	421,064,657
特定資産合計	7,893,548,554	7,959,639,772	▲66,091,218
(3) その他固定資産			
建物附属設備	11,245,245	13,432,221	▲2,186,976
什器備品	3,106,469	4,677,780	▲1,571,311
商標権	1	1	-
差入保証金	2,172,875	856,500	1,316,375
出資金	64,534,915	64,109,082	425,833
その他固定資産合計	81,059,505	83,075,584	▲2,016,079
固定資産合計	9,506,608,059	9,574,715,356	▲68,107,297
資産合計	9,773,630,052	9,905,517,066	▲131,887,014
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	43,928,291	46,389,611	▲2,461,320
預り金	5,682,051	6,109,495	▲427,444
前受金	-	5,888,000	▲5,888,000
賞与引当金	26,470,890	25,776,800	694,090
未払法人税等	70,000	70,000	-
未払消費税等	5,409,500	7,706,600	▲2,297,100
流動負債合計	81,560,732	91,940,506	▲10,379,774
2. 固定負債			
退職給付引当金	96,637,480	95,731,180	906,300
役員退職慰労引当金	24,158,350	28,888,350	▲4,730,000
固定負債合計	120,795,830	124,619,530	▲3,823,700
負債合計	202,356,562	216,560,036	▲14,203,474
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	30,000	30,000	-
指定正味財産合計	30,000	30,000	-
(うち基本財産への充当額)	(30,000)	(30,000)	-
(うち特定資産への充当額)	(-)	(-)	-
2. 一般正味財産	9,571,243,490	9,688,927,030	▲117,683,540
(うち基本財産への充当額)	(1,531,970,000)	(1,531,970,000)	(-)
(うち特定資産への充当額)	(7,893,548,554)	(7,959,639,772)	(▲66,091,218)
正味財産合計	9,571,273,490	9,688,957,030	▲117,683,540
負債及び正味財産合計	9,773,630,052	9,905,517,066	▲131,887,014

貸借対照表内訳表

(2026年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計 公1	収益事業等会計 収1	法人会計	内部取引消去	合計
I. 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金			74,217,553		74,217,553
未収金	141,852,488	9,053,000	5,602,931		156,508,419
内部貸付金		29,009,597	768,902,714	▲797,912,311	-
未収利息	3,539,059		14,475,542		18,014,601
貯蔵品	352,090				352,090
前渡金	7,261,041		4,038,819		11,299,860
前払費用			6,422,514		6,422,514
立替金			206,956		206,956
流動資産合計	153,004,678	38,062,597	873,867,029	▲797,912,311	267,021,993
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
土地	1,531,552,889				1,531,552,889
普通預金	447,111				447,111
基本財産合計	1,532,000,000				1,532,000,000
(2) 特定資産					
建物	392,087,019				392,087,019
構築物	18,024,389				18,024,389
建物附属設備	31,647,958				31,647,958
什器備品	11,114,611				11,114,611
投資有価証券	1,402,729,935		3,499,848,000		4,902,577,935
関連会社株式	682,250,000				682,250,000
出資金	1,384,139,210				1,384,139,210
普通預金	471,707,432				471,707,432
特定資産合計	4,393,700,554		3,499,848,000		7,893,548,554
(3) その他固定資産					
建物附属設備			11,245,245		11,245,245
什器備品			3,106,469		3,106,469
商標権			1		1
差入保証金			2,172,875		2,172,875
出資金			64,534,915		64,534,915
その他固定資産合計			81,059,505		81,059,505
固定資産合計	5,925,700,554		3,580,907,505		9,506,608,059
資産合計	6,078,705,232	38,062,597	4,454,774,534	▲797,912,311	9,773,630,052
II. 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	12,418,115	760,104	30,750,072		43,928,291
内部借入金	797,912,311			▲797,912,311	-
預り金			5,682,051		5,682,051
賞与引当金			26,470,890		26,470,890
未払法人税等			70,000		70,000
未払消費税等			5,409,500		5,409,500
流動負債合計	810,330,426	760,104	68,382,513	▲797,912,311	81,560,732
2. 固定負債					
退職給付引当金			96,637,480		96,637,480
役員退職慰労引当金			24,158,350		24,158,350
固定負債合計			120,795,830		120,795,830
負債合計	810,330,426	760,104	189,178,343	▲797,912,311	202,356,562
III. 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
寄付金	30,000				30,000
指定正味財産合計	30,000				30,000
(うち基本財産への充当額)	(30,000)				(30,000)
(うち特定資産への充当額)	(-)				(-)
2. 一般正味財産	5,268,344,806	37,302,493	4,265,596,191		9,571,243,490
(うち基本財産への充当額)	(1,531,970,000)	(-)	(-)		(1,531,970,000)
(うち特定資産への充当額)	(4,393,700,554)	(-)	(3,499,848,000)		(7,893,548,554)
正味財産合計	5,268,374,806	37,302,493	4,265,596,191		9,571,273,490
負債及び正味財産合計	6,078,705,232	38,062,597	4,454,774,534	▲797,912,311	9,773,630,052

正味財産増減計算書
(2025年4月1日～2026年3月31日)

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用収益			
特定資産受取利息	83,966,615	83,835,780	130,835
特定資産受取配当	183,648,543	177,732,080	5,916,463
② 受取会費			
受取会費	10,450,000	10,800,000	▲350,000
③ 観光文化振興事業収益(公益目的)			
観光文化振興事業収益	338,785,369	279,667,799	59,117,570
④ 調査研修事業収益(収益事業等)			
調査研修事業収益	8,689,177	20,242,000	▲11,552,823
⑤ 雑収益			
雑収益	3,452,429	2,889,958	562,471
経常収益計	628,992,133	575,167,617	53,824,516
(2) 経常費用			
① 観光文化振興事業費(公益目的)			
事業原価	219,024,253	213,668,152	5,356,101
人件費	289,199,760	292,386,799	▲3,187,039
事務費	10,934,228	9,200,151	1,734,077
施設費	63,097,246	55,950,464	7,146,782
諸雑費	24,953,359	12,389,470	12,563,889
② 調査研修事業費(収益事業等)			
事業原価	1,329,000	3,091,000	▲1,762,000
人件費	7,152,844	7,165,659	▲12,815
事務費	301,777	232,504	69,273
施設費	1,113,489	935,896	177,593
諸雑費	613,639	301,060	312,579
③ 管理費			
人件費	62,023,620	54,992,900	7,030,720
事務費	20,604,946	22,772,168	▲2,167,222
施設費	24,303,868	20,212,463	4,091,405
諸雑費	22,023,644	17,901,488	4,122,156
経常費用計	746,675,673	711,200,174	35,475,499
当期経常増減額	▲117,683,540	▲136,032,557	18,349,017
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外費用			
ゴルフ会員権売却損	—	142,779	▲142,779
経常外費用計	—	142,779	▲142,779
当期経常外増減額	—	▲142,779	142,779
当期一般正味財産増減額	▲117,683,540	▲136,175,336	18,491,796
一般正味財産期首残高	9,688,927,030	9,825,102,366	▲136,175,336
一般正味財産期末残高	9,571,243,490	9,688,927,030	▲117,683,540
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	—	—	—
指定正味財産期首残高	30,000	30,000	—
指定正味財産期末残高	30,000	30,000	—
III 正味財産期末残高	9,571,273,490	9,688,957,030	▲117,683,540

正味財産増減計算書内訳表

(2025年4月1日～2026年3月31日)

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	収1			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 特定資産運用収益					
特定資産受取利息	24,024,602		59,942,013		83,966,615
特定資産受取配当	142,713,543		40,935,000		183,648,543
② 受取会費					
受取会費	5,225,000		5,225,000		10,450,000
③ 観光文化振興事業収益(公益目的)					
観光文化振興事業収益	338,785,369				338,785,369
④ 調査研修事業収益(収益事業等)					
調査研修事業収益		8,689,177			8,689,177
⑤ 雑収益					
雑収益	3,452,429				3,452,429
経常収益計	514,200,943	8,689,177	106,102,013		628,992,133
(2) 経常費用					
① 観光文化振興事業費(公益目的)					
事業原価	219,024,253				219,024,253
人件費	289,199,760				289,199,760
事務費	10,934,228				10,934,228
施設費	63,097,246				63,097,246
諸雑費	24,953,359				24,953,359
② 調査研修事業費(収益事業等)					
事業原価		1,329,000			1,329,000
人件費		7,152,844			7,152,844
事務費		301,777			301,777
施設費		1,113,489			1,113,489
諸雑費		613,639			613,639
③ 管理費					
人件費			62,023,620		62,023,620
事務費			20,604,946		20,604,946
施設費			24,303,868		24,303,868
諸雑費			22,023,644		22,023,644
経常費用計	607,208,846	10,510,749	128,956,078		746,675,673
当期経常増減額	▲93,007,903	▲1,821,572	▲22,854,065		▲117,683,540
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外費用					
経常外費用計					—
当期経常外増減額					—
3. 他会計振替額		▲8,646,377	8,646,377		—
当期一般正味財産増減額	▲93,007,903	▲10,467,949	▲14,207,688		▲117,683,540
一般正味財産期首残高	5,361,382,709	47,770,442	4,279,803,879		9,688,957,030
一般正味財産期末残高	5,268,374,806	37,302,493	4,265,596,190		9,571,273,490
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額					
指定正味財産期首残高	30,000				30,000
指定正味財産期末残高	30,000				30,000
III 正味財産期末残高	5,268,404,806	37,302,493	4,265,596,190		9,571,303,490

キャッシュ・フロー計算書

(2025年4月1日～2026年3月31日)

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 当期一般正味財産増減額	▲ 117,683,540	▲ 136,175,336	18,491,796
2. キャッシュ・フローへの調整額			
① 減価償却費	26,386,119	23,932,898	2,453,221
② 退職給付等引当金額の増減額	▲ 3,823,700	▲ 20,795,300	16,971,600
③ 賞与引当金の増減額	694,090	2,808,600	▲2,114,510
④ 棚卸資産の増減額	5,230	34,916	▲29,686
⑤ 未収金の増減額	▲ 35,998,358	1,836,203	▲37,834,561
⑥ 未払金の増減額	▲ 2,461,320	▲2,568,355	107,035
⑦ 前受金の増減額	▲ 5,888,000	4,898,000	▲10,786,000
⑧ 前渡金の増減額	▲ 4,150,819	5,049,935	▲9,200,754
⑨ 前払費用の増減額	▲ 2,583,814	▲ 1,322,690	▲1,261,124
⑩ 未収利息の増減額	1,056,755	1,465,249	▲408,494
⑪ 未払利息の増減額	0	▲ 363,022	363,022
⑫ 立替金の増減額	▲ 203,104	▲ 3,852	▲199,252
⑬ 預り金の増減額	▲427,444	85,332	▲512,776
⑭ その他非資金取引の増減額	447,733	447,733	—
⑮ 未払消費税等の増減額	▲ 2,297,100	7,706,600	▲10,003,700
⑯ 職員預り金増減額	0	▲ 43,728,188	43,728,188
小計	▲ 29,243,732	▲ 20,515,941	▲8,727,791
事業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 146,927,272	▲ 156,691,277	9,764,005
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資活動収入			
① 投資有価証券の償還(売却)による収入	900,000,000	400,000,000	500,000,000
② ゴルフ会員権売却収入	—	8,214,364	▲8,214,364
③ ゴルフ会員権売却損	—	142,779	▲142,779
投資活動収入計	900,000,000	408,357,143	491,642,857
2. 投資活動支出			
① 有形固定資産・無形固定資産取得支出	7,626,500	3,049,909	4,576,591
② 投資有価証券の取得による支出	300,000,000	100,000,000	200,000,000
③ 差入保証金への支出	1,316,375	142,500	1,173,875
④ 出資金の増加	128,293,190	249,357,850	▲121,064,660
⑤ 出資金(非資金取引)の増加額	425,833	291,546	134,287
⑥ 現金預金から特定資産への振替	421,064,657	▲53,211,092	474,275,749
投資活動支出計	858,726,555	299,630,713	559,095,842
投資活動によるキャッシュ・フロー	41,273,445	108,726,430	▲67,452,985
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	—	—	—
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	—	—	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	—	—
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
V 現金及び現金同等物の増減額	▲ 105,653,827	▲ 47,964,847	▲57,688,980
VI 現金及び現金同等物の期首残高	179,871,380	227,836,227	▲47,964,847
VII 現金及び現金同等物の期末残高	74,217,553	179,871,380	▲105,653,827

注) 1 資金の範囲……… 資金の範囲には、現金及び同等物を含めている。

2 重要な非資金取引……債券償却原価(アキュムレーション・アモチゼーション) ▲447,733円

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっております。
- ・関連会社株式……移動平均法による原価法によっております。
- ・その他有価証券(時価の無いもの)……移動平均法による原価法によっております。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- ・貯蔵品……最終仕入原価法

(3) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産……定率法を採用しております。ただし、建物並びに平成28年度4月1日以降に取得した建物付属設備および構築物については、定額法を採用しております。
なお、取得価額が10万円以上20万円未満の減価償却資産については、3年間で均等償却する方法を採用しております。

無形固定資産……定額法を採用しております。

(4) 引当金の計上基準

・賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上しております。

・退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末に発生していると認められる額を計上しております。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づき計算しております。

・役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理については、税抜方式によっております。

3. 会計方針の変更

該当事項はありません。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りであります。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基本財産)				
土 地	1,531,552,889円	— 円	— 円	1,531,552,889円
普 通 預 金	447,111円	— 円	— 円	447,111円
基 本 財 産 合 計	1,532,000,000円	— 円	— 円	1,532,000,000円
(特定資産)				
建 物	401,808,182円	— 円	9,721,163円	392,087,019円
構 築 物	19,768,680円	— 円	1,744,291円	18,024,389円
建物付属設備	37,845,429円	— 円	6,197,471円	31,647,958円
什 器 備 品	8,453,018円	7,626,500円	4,964,907円	11,114,611円
投資有価証券	797,177,668円	1,306,000,000円	900,447,733円	1,202,729,935円
関連会社株式	682,250,000円	— 円	— 円	682,250,000円
出 資 金	1,255,846,020円	128,294,590円	1,400円	1,384,139,210円
普 通 預 金	50,642,775円	421,064,657円	— 円	471,707,432円
小 計	3,253,791,772円	1,862,985,747円	923,076,965円	4,193,700,554円
(特定資産:資産取得資金)				
投資有価証券	200,000,000円	— 円	— 円	200,000,000円
小 計	200,000,000円	— 円	— 円	200,000,000円
(特定資産:管理活動財産)				
投資有価証券	4,505,848,000円	— 円	1,006,000,000円	3,499,848,000円
小 計	4,505,848,000円	— 円	1,006,000,000円	3,499,848,000円
特 定 資 産 合 計	7,959,639,772円	1,862,985,747円	1,929,076,965円	7,893,548,554円

特定資産 科目内訳

建 物	401,808,182円	— 円	9,721,163円	392,087,019円
構 築 物	19,768,680円	— 円	1,744,291円	18,024,389円
建物付属設備	37,845,429円	— 円	6,197,471円	31,647,958円
什 器 備 品	8,453,018円	7,626,500円	4,964,907円	11,114,611円
投資有価証券	5,503,025,668円	1,306,000,000円	1,906,447,733円	4,902,577,935円
関連会社株式	682,250,000円	— 円	— 円	682,250,000円
出 資 金	1,255,846,020円	128,294,590円	1,400円	1,384,139,210円
普 通 預 金	50,642,775円	421,064,657円	— 円	471,707,432円
特 定 資 産 合 計	7,959,639,772円	1,862,985,747円	1,929,076,965円	7,893,548,554円

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りであります。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
(基本財産)				
土 地	1,531,552,889円	— 円	(1,531,552,889円)	— 円
普 通 預 金	447,111円	(30,000円)	(417,111円)	— 円
基 本 財 産 合 計	1,532,000,000円	30,000円	1,531,970,000円	— 円
(特定資産)				
建 物	392,087,019円	— 円	(392,087,019円)	— 円
構 築 物	18,024,389円	— 円	(18,024,389円)	— 円
建物付属設備	31,647,958円	— 円	(31,647,958円)	— 円
什 器 備 品	11,114,611円	— 円	(11,114,611円)	— 円
投資有価証券	1,202,729,935円	— 円	(1,202,729,935円)	— 円
関連会社株式	682,250,000円	— 円	(682,250,000円)	— 円
出 資 金	1,384,139,210円	— 円	(1,384,139,210円)	— 円
普 通 預 金	471,707,432円	— 円	(471,707,432円)	— 円
小 計	4,193,700,554円	— 円	4,193,700,554円	— 円
(特定資産:資産取得資金)				
投資有価証券	200,000,000円	— 円	(200,000,000円)	— 円
小 計	200,000,000円	— 円	200,000,000円	— 円
(特定資産:管理活動財産)				
投資有価証券	3,499,848,000円	— 円	(3,499,848,000円)	— 円
小 計	3,499,848,000円	— 円	3,499,848,000円	— 円
特 定 資 産 合 計	7,893,548,554円	— 円	7,893,548,554円	— 円

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び期末残高は、次の通りであります。

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当 期 末 残 高
建 物	486,058,260円	93,971,241円	392,087,019円
構 築 物	34,885,867円	16,861,478円	18,024,389円
建 物 付 属 設 備	124,353,059円	81,459,856円	42,893,203円
什 器 備 品	117,097,039円	102,875,959円	14,221,080円
合 計	762,394,225円	295,168,534円	467,225,691円

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次の通りであります。

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
公益目的保有財産 公社債	1,202,729,935円	1,157,995,315円	▲44,734,620円
特定資産(資産取得) 社債	200,000,000円	192,561,153円	▲7,438,847円
特定資産(管理活動財産) 社債	3,499,848,000円	3,369,673,832円	▲130,174,168円
合 計	4,902,577,935円	4,720,230,300円	▲182,347,635円

8. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表とに掲載されている金額との関係は次の通りであります。

項 目	前期末	当期末
現金預金勘定	179,871,380円	74,217,553円
現金及び現金同等物	179,871,380円	74,217,553円

(2) 重要な非資金取引は次の通りであります。

項 目	前期末	当期末
債券償却原価による アキュムレーション	3,025円	3,025円
債券償却原価による アモチゼーション	450,758円	450,758円

アキュムレーション・・・額面と取得額の差益を残存年数で毎年均等に収益計上すること

アモチゼーション・・・額面と取得額の差損を残存年数で毎年均等に収益減算すること

9. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度（一部企業年金制度）を採用しております。

(2) 退職給付債務及びその内訳

①退職給付債務	96,637,480円
②会計基準変更時差異の未処理額	—
合計(①+②)	96,637,480円

(3) 退職給付費用に関する事項

①勤務費用	7,847,900円
②会計基準変更時差異の費用処理額	—
合計(①+②)	7,847,900円

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算しております。

10. 重要な後発事象

該当事項はありません。

11. その他

該当事項はありません。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記『2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高』、『3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳』に記載しておりますので、附属明細書の記載は省略しております。

2. 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	25,776,800円	26,470,890円	25,776,800円		26,470,890円
退職給付引当金	95,731,180円	7,847,900円	6,941,600円		96,637,480円
役員退職慰労引当金	28,888,350円	11,533,340円	16,263,340円		24,158,350円
合計	150,396,330円	45,852,130円	48,981,740円		147,266,720円

財 産 目 録

(2026年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現 金	手許保管	運転資金として(共用資産)	1,317,247
	普 通 預 金	みずほ銀行 大手町営業部	運転資金として(共用資産)	72,900,306
	未 収 金	公益目的事業	受託・公益目的事業の未収分	141,852,488
		収益事業等	受託・収益事業の未収分	9,053,000
		法人会計	出向者人件費戻入	5,602,931
	未 収 利 息	債券未収利息	満期保有債券未収利息合計	18,014,601
	貯 蔵 品	公益目的事業	頒布用の編著書籍の在庫	352,090
	前 渡 金	公益目的事業	翌期事業の前払い分	7,261,041
		法人会計	翌期経費の前払い分	4,038,819
	前 払 費 用	法人会計	次年度通勤費等	6,422,514
立 替 金	法人会計	職員立替分	206,956	
流 動 資 産 合 計		267,021,993		
(固定資産)				
基本財産	土 地	港区南青山2-7-29	公益目的事業のための事務所ビル用地	1,531,552,889
	普 通 預 金	みずほ銀行 大手町営業部	受取利息を公益目的事業に充当	447,111
	基 本 財 産 合 計			1,532,000,000
特定資産	建 物	港区南青山2-7-29	公益目的事業使用のため(事務所ビル)	392,087,019
	構 築 物	港区南青山2-7-29	公益目的事業使用のため(事務所ビル)	18,024,389
	建 物 付 属 設 備	内部造作一式	公益目的事業使用のため(事務所ビル)	31,647,958
	什 器 備 品	器具備品類一式	公益目的事業使用のため	11,114,611
	投資有価証券 公益目的保有財産 資産取得資金 管理活動財産	公益目的事業財産	受取利息を公益目的事業に充当	1,202,729,935
		公益目的事業財産	受取利息を公益目的事業に充当	200,000,000
		法人会計財産	受取利息を法人会計に充当	3,499,848,000
	関連会社株式 出 資 金	株式会社JTB 株式 1,364,500株	配当金を公益目的事業に充当	682,250,000
		公益目的事業財産	配当金を公益目的事業に充当	1,384,139,210
	普 通 預 金 公益目的保有財産	公益目的事業財産	特定資産を普通預金で保有	471,707,432
特 定 資 産 合 計			7,893,548,554	

財 産 目 録

(2026年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他固定資産	建 物 付 属 設 備	内部造作一式	業務使用のため	11,245,245
	什 器 備 品	器具備品類一式	業務使用のため	3,106,469
	商 標 権	登録番号5688974号	財団ロゴマーク	1
	差 入 保 証 金	日観興業株式会社	茨城ゴルフ倶楽部会員権保証金	400,000
		(株)トゥーザコア沖縄	JTBF沖縄事務所保証金	160,000
		(株)ライブ	職員代用社宅敷金	154,000
		IWGジャパン(株)	JTBF京都事務所保証金	65,000
		(株)東京ネットワークス	職員代用社宅敷金	71,500
		(株)TAM	職員代用社宅追加敷金	6,000
		豊岡市	受託事業契約保証金	939,400
		JTBハワイ	職員代用社宅敷金	376,975
	出 資 金	JTB共済組合	共済基本金、住宅会計、遺児奨学会計 (共用資産)	64,534,915
			そ の 他 固 定 資 産 合 計	81,059,505
固 定 資 産 合 計				9,506,608,059
資 産 合 計				9,773,630,052
(流動負債)	未 払 金	公益目的事業 収益事業等 法人会計	受託・公益目的事業の未払分 受託・収益事業の未払分 一般経費の未払分	12,418,115 760,104 30,750,072
	預 り 金	法人会計	源泉徴収諸税金・社会保険料他	5,682,051
	賞 与 引 当 金	職員に対するもの	職員27名及び受入出向者4名に対する 夏期賞与の引当 (共用負債)	26,470,890
	未払法人税等	税金	都税均等割	70,000
	未払消費税等	税金	消費税	5,409,500
	流 動 負 債 合 計			81,560,732
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	期末時の全職員分退職手当必要額 (共用負債)	96,637,480
	役員退職慰労引当金	役員に対するもの	期末時の全役員分退任慰労金必要額 (共用負債)	24,158,350
固 定 負 債 合 計				120,795,830
負 債 合 計				202,356,562
正 味 財 産				9,571,273,490
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計				9,773,630,052

独立監査人の監査報告書

2026年（令和8年）5月 7日

公益財団法人日本交通公社

理事会 御中

黒田公認会計士事務所
東京都江東区

公認会計士 黒田浩之 (印)

＜財務諸表監査＞

監査意見

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に準じて、公益財団法人日本交通公社の2025年（令和7年）4月1日から2026年（令和8年）3月31日までの第84期事業年度の貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドラインⅠ－5（Ⅰ）の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）、キャッシュ・フロー計算書及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書並びに財産目録のうち意見の対象とされていない部分で、この監査報告書の日付より後に私に提供されることが予定される事業報告書及び定期提出書類から構成される。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における私の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は私が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか

か検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私は、この監査報告書の日付より後に私に提供される事業報告書及び定期提出書類を通読し、重要な誤りがあると判断した場合、当該事項を監事に報告することが求められている。

財務諸表に対する理事者の責任及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき財務諸表等を作成する事が適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告のプロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表の意見を表明する事にある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・理事者が継続事業を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、

構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

＜財産目録に対する意見＞

財産目録に対する監査意見

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に準じて、公益財団法人日本交通公社の2025年（令和7年）4月1日から2026年（令和8年）3月31日までの第84期事業年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上